



5ff8246e76ef8

医療機関名：PMCクリニック  
受診日：2021/4/1  
受診者名：サンプル タロウ  
カルテID：123456789  
備考欄①：  
備考欄②：

## 大腸がんリスク検査報告書

# Prodrome-CRC

プロドロームシーアールシー

Prodrome-CRCは大腸がんの発症リスクを評価する検査です。  
大腸がん患者の血中で特異的に減少する15種類の長鎖脂肪酸”GTAファミリー”を測定し、  
大腸がんの発症リスクを3段階で判定いたします。

氏名 サンプル タロウ 様	性別 男性	年齢 47歳
受診日 2021/4/1	カルテID 123456789	

## 大腸がんリスク判定結果

Prodrome-CRCの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル**96**と正常で大腸がんのリスクは **低リスク** と判定されました。

### 総合評価コメント

今回検査結果では長鎖脂肪酸の値は正常域で、大腸がんのリスクは低い状態であると判定されました。

しかし、油断は禁物です。大腸がんは症状に気づきにくいがんともいわれています。今後も定期的に検査を受診し、大腸がんの早期発見・予防に努めましょう。また、食生活、喫煙、飲酒などの生活習慣の乱れにも注意しましょう。

## 検査受診後について

### 低リスク

レベル: 26-100

リスク因子を避けて、健康的な生活習慣を心がけましょう。  
また、リスク管理のためがん検診や本検査の継続的な受診をおすすめします。  
※1~2年に1度程度

### 中リスク

レベル: 11-25

喫煙習慣や肥満といったリスク因子をお持ちの方は、生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を心がけましょう。  
また、リスク管理のためがん検診や本検査の定期的な受診をおすすめします。  
※1年に1度程度

### 高リスク

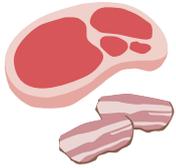
レベル: 0-10

医療機関ともご相談の上、専門医の受診をご検討ください。  
必要に応じて、大腸内視鏡検査などの精密検査(右ページ参照)の実施を推奨します。

## Prodrome-CRCで低・中リスク判定だった方に・・・

大腸がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。  
予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

### ✓食生活



赤身肉や加工肉(ベーコン、ハム等)の過剰摂取は大腸がんのリスクを上昇させるといわれています。

### ✓喫煙



喫煙は大腸がんの発症危険度を増加させるとされています。  
また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。

### ✓アルコール



アルコールを1日1合以上摂取する方\*は、お酒を飲まない人に比べて、2倍ほど大腸がんのリスクが高まるとされています。

\*エタノール量換算で約23g程度

### ✓肥満



肥満は大腸がんのリスクを増加させることが報告されています。  
特に男性ではBMI(肥満指数)が25以上の方が、それ以下の人に比べて大腸がん発症の危険度が2倍ほど高まるとされています。

参考:国立がん研究センター がん情報サービス  
科学的に基づく発がん性・がん予防硬化の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究

## Prodrome-CRCで高リスク判定だった方に・・・

本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめします。  
(下記は実施例です。)

### ✓大腸内視鏡検査



肛門から、管上のカメラを入れて、大腸全体を観察する検査方法です。  
大腸がん、大腸ポリープなどの疾患の発見に優れています。

### ✓CT検査



X線とコンピュータを使用し、大腸の画像を撮影する検査です。  
内視鏡を挿入せず大腸の鮮明な画像を撮影できるため、「バーチャル大腸内視鏡検査」とも呼ばれています。

# ● Prodrome-CRCについて ●

## 検査概要

本検査では15種類の長鎖脂肪酸\*1（以下GTAファミリーと記載）の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態から大腸がんに至る段階で減少すると考えられています。

人体では、慢性的に過剰な炎症が生じたり、古くなった細胞が蓄積することでがんができやすくなると考えられています。GTAファミリーはこれらを抑制することでがんが発生することを防ぐ働きがあると考えられています。そのため、GTAファミリーの減少は、大腸がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

\*1 長鎖脂肪酸：細胞を構成する物質で、その機能や形状を正しく保つ働きがあります。

## 結果判定

GTAファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。

中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が10倍近く高くなります。

高リスクの場合では、同様に100倍以上高くなります。\*2

\*2 55-59才 男性の場合：中リスク/低リスク=11倍、高リスク/低リスク=143倍

## 受診後の対応

生活習慣を見直してリスクの軽減を努めるとともに、定期的なご受診をおすすめします。また、必要に応じて、大腸内視鏡などの精密検査を受けることをおすすめします。

